

相場を仕掛ける時には「絶対高いはずだ」とか、「間違いなく安いはずだ」とかおのれの中で決めつけなければ、命の次に大事なカネを賭けられるはずもない。「上がればいいな」ではどうせ大した枚数を張れるはずもなく、「自信がないけど…」とか、「誰だれに言われたから…」と賭ける様ではどうせ損をするし、損した時に後悔や人のせいにするだけの事だ。

特に大枚を張る相場師は、はたから見ればそんな事を信じて、そんなにカネを賭けるのか？という行動を取る。「俺が買ったんだ。間違いなく上がるんだよ！」という風な、ちょっと鼻につくほどの自信の塊である。正直、面白い性格をしている。

だが「絶対の自信を持って仕掛けた」はずの相場だって、反対に行って曲がる事は多々ある。生き残る「相場師」と言われる連中は、その時の対処もまた素早い。

朝には「絶対買いだよ！」と言っていたのが、夕方には「売りに決まっているだろ！」と朝令暮改は日常茶飯事。仕掛けた時の自分の信念なんぞ、まるでどこかに投げたかのように変わるのだ。そして、それに対する反省なんぞは皆無で、「だって状況が変わったんだもん」の一言でバツサリ切り捨てる。

おそらく一般社会で、特に自分の上司がこんな風だったらば、それこそ「もうついて行けないよ…」という感じになるだろう。

我慢すること、一所懸命頑張ること、変節しない事…などは、一般的には美德の一種なのだろうが、相場にはあんまり役に立たない。曲がった相場で我慢するのは、破産への近道でしかない。だから相場で成功している人は、一般社会では間違いなく「変わり者」に違いない。

ただし大枚を張る相場師は、相場を張っている時だけ変わり者なのであって、基本的に明るくて、ニコニコしている人が多いものだ。強い「博奕打ち」も大概そんなもんだ。

ヤクザ映画に出てくるような、健さんや文太さんのような風貌・雰囲気、しかめっ面をしながらニヒルに博打を張る…という奴なんぞ、実際には見たことない。ホントは見た事がないわけじゃないが、そんな奴らはプロじゃない。ヤクザ映画を見た後の、肩肘張って外股歩きになる素人衆だな。

もしも麻雀する時に、向かいに健さん、上家に文太さんでは、勝ち負けの前に素人は逃げちゃうでしょ！そんなんじゃ、幾ら強くても稼げないわな。プロは、勝ってるのか負けてるのかわからんように、恨まれない程度に稼いで帰って行くもんだ。

明るくニコニコしていて、信念があって、変節も早い…という何だかわからない性格をしているのが相場師なわけだが、相場にとって絶対いけないのは宗教・イデオロギー・好き嫌いが 3 悪じゃないかな。

相場に聖戦を持ち込んじゃいけないし、右でも左でもイデオロギーにかぶれた奴は社会を正確に見れないだろうし、嫌韓・嫌中・嫌米・嫌欧なども「過ぎたるはなお及ばざるが如し」だ。

もしもイスラム教徒で、右派で、嫌米の人が相場を張ったら（そんな人、日本人に存在するのかどうか知らんけど…）、米国経済指標が好転しても「そんなはずはない。相場が上がるのはおかしい」と決めつけるに決まっているわな。

そういうフィルターをかけて相場を見ると、必ず目が曇るだろう。そういう事には、気を付けなきゃいけないね。

〔貴金属〕

今週の金の値動き

	2月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
2月13日	¥4,312	-13	¥4,323	-11
2月14日	¥4,304	-8	¥4,314	-9
2月15日	¥4,361	57	¥4,369	55
2月16日	¥4,335	-26	¥4,346	-23
2月17日	¥4,408	73	¥4,420	74

金相場は、先週号においては『円安もあって国内市場では節分天井とはならず。しかし大勢が買いなのは承知しているが、やはり近日中に大きな調整安があって、その場面で買いを考えるのが良しとの相場観は変わらない』とコメントした。

今週の相場展開は、上げたり下げたりではあったものの、上がる時の方の勢いが強く 4,400円台まで上昇。先物は週末に 4,424円 (2/17) まで記録である。

○東京金日足

…削除済み…

3,808円 (12/30) →4,424円 (2/17) まで 616円幅の上昇である。また今週も更に 50円ほど上昇したわけで、「もうはまだなり」を地で行く展開である。

チャートでは昨年12月の高値 4,422円 (12/5) を突破し、次の抵抗線は 4,510円。それも突破するならば、4,700円台がターゲットになる格好だ。

つまり昨年12月からの下げは「往って来い」となったわけである。さて、何時まで「もうはまだなり」の相場展開が続くのか？

後述するが、NY金は2/3の高値からは右肩下がりである。東京市場の2/3以降の上昇は、ひとえに円安が原因である。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	¥3,763	2月24日	¥4,750	9月7日	¥3,535	3月18日	¥4,408
2012年4月	¥3,970	4月26日	¥4,751	9月7日	¥3,807	12月30日	¥4,415
2012年6月	¥3,909	6月28日	¥4,754	9月7日	¥3,810	12月30日	¥4,419
2012年8月	¥4,506	8月29日	¥4,754	9月7日	¥3,808	12月30日	¥4,421
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,510	11月9日	¥3,808	12月30日	¥4,420
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,424	2月17日	¥3,808	12月30日	¥4,420

○NY金日足 (2/16現在)

…削除済み…

週末 2/17 の NY 市場は、前日比 2.5 ドル安の 1725.9 ドル。国内換算では 15時半比 2円安だが、NY市場の上下とともに高値 4,438円、安値 4,392円の乱高下であり、織り込み済みである。

為替は 79.46円とまた若干の円安であるため、これが反転しないと国内市場は下がらないのだろう。

アメリカに節分は無いと思うが、こちらは2/3の1765.9ドルが直近の高値であり、そこからは上げもだえている格好だ。

CFTC 発表の2/14現在のファンドのポジションは…中略…

また2/17現在のETF残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、円安を支援材料として続伸中の相場であるが、ここは押しが入るまでじっと我慢。押したら買いだろうが、このまま高ければ天井での売りを狙いたい。

今週のプラチナの値動き

	2月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
2月13日	¥4,132	12	¥4,155	15
2月14日	¥4,108	-24	¥4,127	-28
2月15日	¥4,135	27	¥4,157	30
2月16日	¥4,073	-62	¥4,096	-61
2月17日	¥4,151	78	¥4,171	75

プラチナ相場は、先週号においては『押し目買い継続であるが、そろそろ大きな調整が来てもおかしくはない。そういう場面が到来したら、買い仕込む相場なのであろう』とコメントした。

今週の相場展開は、上げたり下げたり日替わりの展開だったが、週末は続伸して4,188円(2/17)と高値更新。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

3,376円(12/30)→4,188円(2/17)まで812円幅の上昇。ついに大納会の底値から800円幅を超える上昇となったわけだ。

週末の夜間取引では4,198円まで記録しており、僅かながら更に高値更新である。NYプラチナも7.8ドル高の続伸であり、国内換算では15時半比13円高である。

チャートでは4,199円(11/9)に到達すれば昨年末の下げの「往って来い」になるわけだが、週明けはこの価格を抜けそうである。

こうなると残りは昨年8月～9月のWトップを形成したところ(天井4,770円、ネックライン4,464円)までさしたる抵抗線が無いわけで、…中略…

一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	¥4,817	2月24日	¥4,997	4月11日	¥3,351	12月30日	¥4,151
2012年4月	¥4,826	4月26日	¥4,921	5月6日	¥3,363	12月30日	¥4,158
2012年6月	¥4,445	6月28日	¥4,770	8月23日	¥3,370	12月30日	¥4,160
2012年8月	¥4,581	8月29日	¥4,726	9月7日	¥3,380	12月30日	¥4,163
2012年10月	¥3,918	10月27日	¥4,199	11月9日	¥3,375	12月30日	¥4,167
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,188	2月17日	¥3,376	12月30日	¥4,171

○白金－金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,171円（プラチナ）－4,420円（金）＝－249円。

－161円（2/14）まで詰まった後、調整に入ったサヤである。一番逆ザヤがついたのが12/8の－547円だったわけだが、さすがにそこは底値だったのだろう。この調整終了後は、やっとプラチナの方が金よりも高くなる時代に戻るのではあるまいか。

なお金ETFなど貴金属の現物買い人気は強いわけだが、国内では割安感があるのでプラチナコインが良く売れているという。…中略…

結論として当方の相場観は、そろそろ大きな押しが来るのではあるまいか。しかし基本は買い相場であり、そう遠くないうちに金よりも高くなる時期が来るものと想定している。

〔穀物〕

今週のコーンの値動き

	3月限(当限)	前日比	1月限(先限)	前日比
2月13日	¥24,410	-90	¥23,090	70
2月14日	¥24,810	400	¥23,010	-80
2月15日	¥25,550	740	¥23,150	140
	5月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
2月16日	¥24,970	-80	¥23,070	
2月17日	¥25,390	420	¥23,690	620

まずはコーンから…

先週号においては『インパクトのある材料が出るまでは大して動かないだろう。22,000円台半ばまで下げれば打診買いをしてみたいが、それまでは様子見である』とコメントした。

今週の相場展開は、石油が高騰、金も上昇、株価も上昇、円は安くなるという状況の中で、穀物だってなめんなよ！という感じで週末に上昇。先物は23,690円まで上がった。

○東京コーン日足

…削除済み…

21,000円台は底である。また一目均衡表の雲の上に出たの推移は、買いトレンド転換を示唆している相場でもあった。しかし全く勢いのない相場で、一言で言うならば「つまらん展開」が続いていたわけだ。

しかし円安効果+他商品高の影響で、さすがにコーンも上昇である。コーン自体に買い材料は無いので外部環境が変われば往って来いだろうが、チャートは好転したので後は人気を集められるかどうかである。

…中略…

結論から先に言えば、どうせ1,000円下なら買おうと思っていた相場である。目先はこのチャートに乗ってみて、一段高したらば繋ぎの売りも入れて、戦線に参加してみたい。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年3月	¥26,850	2月16日	¥28,980	4月11日	¥22,050	11月28日	¥25,550
2012年5月	¥27,970	4月18日	¥29,360	4月21日	¥22,000	11月28日	¥25,390
2012年7月	¥28,180	6月16日	¥28,560	8月30日	¥22,110	12月15日	¥25,390
2012年9月	¥27,440	8月16日	¥28,550	9月13日	¥21,930	11月28日	¥25,460
2012年11月	¥24,400	10月17日	¥24,750	11月10日	¥21,110	1月1日	¥23,690
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥23,430	2月9日	¥21,650	12月16日	¥23,400
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥23,690	2月17日	¥23,060	2月16日	¥23,690

○シカゴコーン日足 (2/16現在)

…削除済み…

週末2/17のシカゴ市場は、中心限月の3月限で前日比5.50セント高の641.75セント。国内換算では15時半比180円高である。

なお米国市場は週明けプレジデントデーの休日であり、3連休となる。連休明けの相場は注目

だ。

CFTC 発表の 2/14 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、目先はチャートの良さに飛び乗ってみたい。ただし他商品が反落、もしくは円安が終了すれば大きく下げるだろうから、スピーディーな対処が必要となるだろう。

今週の大豆の値動き

	2月限(当限)	前日比	12月限(先限)	前日比
2月13日	¥32,500	0	¥40,260	530
2月14日	¥31,600	-900	¥40,560	300
2月15日	¥31,800	200	¥40,950	390
	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
2月16日	¥33,700	-240	¥41,110	
2月17日	¥33,700	0	¥41,900	790

続いて一般大豆です…

先週号においては『シカゴのファンド買い+円安で一時的に戻した相場であるが、そのまま高値追いかどうかには疑問あり。むしろ今は、急伸した場面は逆向かいの売りを入れるのが良しとの考えで、2月崩しを狙うのがベターとの見方である』とコメントした。

今週の相場展開は、続伸した相場が 41,000 円台まで上昇。特に発会した先物 2月限は 41,950 円まで記録である。

○ 東京大豆日足

…削除済み…

「36,000 円台で底は入っている相場ではあろうが、相変わらず上値も重い展開が続いている」とコメントしていたが、円安&他商品高の影響を受けて、さすがになめんなよ！という風に上伸したのが今週である。

2月限発会は 41,900 円でスタートし、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	¥51,280	2月16日	¥52,780	4月11日	¥31,400	11月28日	¥31,800
2012年4月	¥50,170	4月18日	¥51,180	4月21日	¥31,200	12月16日	¥33,700
2012年6月	¥49,820	6月16日	¥49,910	9月5日	¥33,600	12月16日	¥36,290
2012年8月	¥47,450	8月16日	¥50,110	9月5日	¥35,610	12月15日	¥39,060
2012年10月	¥44,250	10月17日	¥44,250	10月17日	¥36,410	12月15日	¥40,050
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥41,160	2月15日	¥36,830	12月16日	¥40,950
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥41,950	2月17日	¥41,050	2月16日	¥41,900

○シカゴ大豆日足 (2/16 現在)

…削除済み…

週末 2/17 のシカゴ市場は、3月限で 9.25 セント高の 1267.50 セント。東京市場 15 時半比で

は 240 円高である。

チャートは悪くなく、右肩上がりの格好である。東京市場は円安もあって上昇に拍車が掛かり、相対力指数は 74 ポイント台まで上がっているが、シカゴはまだ 64 ポイント台と上げ余地が残りそうな姿である。

なお CFTC 発表の 2/14 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、押し目買いと吹き値売りの両面作戦を良しと見る。今のシステムは両建てに証拠金は掛からないので、そうやって売り買い両方を持ってあんこの両建てとしたい。いずれ両方利食い出来るだろうから。

[ゴム]

今週のゴムの値動き

	2月限(当限)	前日比	7月限(先限)	前日比
2月13日	304.0	2.0	316.6	1.5
2月14日	302.5	-1.5	317.1	0.5
2月15日	307.0	4.5	323.5	6.4
2月16日	298.0	-9.0	313.9	-9.6
2月17日	300.1	2.1	318.1	4.2

先週号においては『最大上がって340円だろうとの見方に変化はないので、売り場探しの考えは変わらない。しかし現状では輸入採算価格からは大幅に割安なので、300円は簡単に割る相場ではないだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、320円を挟んだ乱高下の展開。高値更新はせず、崩れもしない展開だが、値幅は簡単にCB2発分動く荒い相場である。

○東京ゴム日足

…削除済み…

年明けの258.7円(1/5)→327.3円(2/9)まで68.6円上昇した相場だが、このところは15円幅程度でのみ合いに移行。

上昇のきっかけとなったタイの市場介入については、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	362.2	8月26日	379.0	8月31日	246.0	11月11日	300.1
2012年3月	318.7	9月27日	327.9	10月17日	247.5	11月11日	305.9
2012年4月	292.5	10月26日	317.0	2月9日	248.6	11月11日	308.9
2012年5月	266.0	11月25日	321.4	2月9日	256.9	1月5日	312.9
2012年6月	279.6	12月22日	325.3	2月9日	258.7	1月5日	316.2
2012年7月	324.0	1月26日	327.3	2月9日	307.5	1月31日	318.1

当先のサヤは、2月限300.1円～7月限318.1円と18.0円の順ザヤ。順ザヤ幅は拡大した。

週末現在の輸入採算価格は、3月積みで…中略…

国内営業倉庫在庫は、1/31現在で188トン減の14,234トン。小幅だが徐々に減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、2/9からは若干右肩下がりのチャート。東京で327.3円を記録した日が、上海市場でも高値だったということ。

結論として当方の相場観は、327.3円(2/9)で天井を打っているかもしれない。しかし現状ではまだ300円割れの相場は難しく、しばらく320円を挟んでもみ合いか。ただし310円割れなら近日中に出るのでは？

〔石油製品〕

今週の原油の値動き

	2月限(当限)	前日比	7月限(先限)	前日比
2月13日	¥55,820	170	¥55,320	20
2月14日	¥55,710	-110	¥55,140	-180
2月15日	¥56,210	500	¥56,110	970
2月16日	¥56,320	110	¥56,160	50
2月17日	¥56,950	630	¥57,080	920

まずは原油から…

先週号においては『予想通りに青天井に舞い上がった相場である。万が一のホルムズ海峡封鎖を考えた場合、値頃での売りは危険。一部は利食いでも、買い玉維持で有事に備える』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は続伸して102ドル台まで上昇。3連休前となる週末17日は、103ドル台までなお上がって終了である。

東京原油は、調整が入ったのは14日のみ。それを除けば11本の陽線の連続であり、まさに青天井の様相である。価格は57,000円台であり、あっという間に6,000円の急騰だ。

○ NY原油日足 (2/16 現在)

…削除済み…

週末2/17のNY市場は、前日比0.93ドル高の103.24ドルで終了。高値は103.57ドルであり、1/4の高値103.74ドルに次ぐ価格である。

国内換算では15時半比230円高であるが、国内夜間取引でも57,190円まで出て織り込み済み。

NY原油も大きく上がり始めたわけだが、ロンドンブレントは120ドル台、ドバイ原油は118ドル台まで出ている。

この原油高の背景である中東情勢は、…中略…

なお2/14現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

「53,000円と来れば吹き上がっても不思議ではない」とした相場は、そこからでもすでに4,000円の上げで、一気に57,000円台まで上昇である。全限一代高値更新の相場は、まさに青天井相場である。

警戒すべき点は、相対力指数が78ポイント台とすでに異常な値を示している事。ただしこのような高い数値は、ちょっと押せば解消するわけであり、売り方がこれを見て損切りを遅らせると更に大相場になるケースは多々あるわけだ。

当方としては、利食い売りはOKとしても、新規売りは危険だとの見方に変わりはない。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年2月	¥52,500	9月1日	¥57,000	2月17日	¥44,550	10月5日	¥56,950
2012年3月	¥45,770	10月3日	¥58,600	2月17日	¥44,390	10月5日	¥58,490
2012年4月	¥50,630	11月1日	¥58,280	2月17日	¥48,130	12月19日	¥58,180
2012年5月	¥51,720	12月1日	¥57,890	2月17日	¥47,910	12月19日	¥57,800
2012年6月	¥51,590	1月4日	¥57,580	2月17日	¥51,100	1月4日	¥57,420
2012年7月	¥51,290	2月1日	¥57,250	2月17日	¥51,040	2月3日	¥57,080

全限一代高値の更新中である、まさに青天井の相場である。

結論として当方の相場観は、「もうはまだなり」の相場が続くだろう。陰線が1本入れば買い場であろうし、外部環境が変わらない限り、値頃感を無視して買い進む相場であろう。

今週のガソリンの値動き

	3月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
2月13日	¥68,020	210	¥68,960	190
2月14日	¥68,000	-20	¥69,050	90
2月15日	¥69,020	1020	¥70,030	980
2月16日	¥69,150	130	¥69,990	-40
2月17日	¥69,990	840	¥71,010	1020

続いてガソリンです…先週号においては『青天井の様相を見せてきた展開であり、値頃売りは危険だろう。イラン情勢次第の相場ではあるが、このまま上げ相場について行くのがベターであり、近いうちに7万円相場の声を聞くだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、7万円どころか71,000円台、中物では72,000円台まで高騰。まさに青天井の様相で舞い上がる展開となった。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

チャートでは完全に上放れした後、簡単に5,000円は舞い上がった展開である。1,000円動けばピンで5万円なのだから、これは大きい。

相対力指数は80ポイント台まで示しており、懸念はこれのみだろう。だが1,000円も下がれば指数は簡単に10ポイント以上押すだろうから、中途半端なところで仕掛けた売り方は助からんだろう。

…中略…

一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年3月	¥61,280	8月26日	¥70,080	2月17日	¥55,800	10月5日	¥69,990
2012年4月	¥58,900	9月26日	¥72,200	2月17日	¥57,260	10月5日	¥72,130
2012年5月	¥62,380	10月26日	¥72,300	2月17日	¥59,350	11月22日	¥72,210
2012年6月	¥61,020	11月28日	¥72,080	2月17日	¥60,510	12月19日	¥71,990
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥71,580	2月17日	¥62,500	12月30日	¥71,470
2012年8月	¥66,800	1月26日	¥71,130	2月17日	¥64,920	2月3日	¥71,010

全限一代高値の更新である。

2/17 現在の業者間転売価格は、…中略…

2/11 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、押し目買いの展開はまだ続くだろう。天井を打つ時は、川下の価格も上昇してテレビで騒ぐ時だろう。寡聞にして、そういうニュースはまだ見ていない。

今週の灯油の値動き

	3月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
2月13日	¥68,810	-50	¥66,330	240
2月14日	¥68,410	-400	¥66,020	-310
2月15日	¥69,500	1090	¥67,120	1100
2月16日	¥69,820	320	¥67,230	110
2月17日	¥71,570	1750	¥68,220	990

最後に灯油です…先週号においては『9月限が出たら押し目買いを狙うが、今は原油・ガソリンに注目して灯油は様子見であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、押したのは14日のみで高値追いを継続。週末には68,000円台まで上昇で、今週も2,000円以上の上げ幅となり、全限一代高値の更新中である。

○東京灯油日足

…削除済み…

64,000円から頭の重い展開が続いていた相場は、大元の原油高、関連商品のガソリン高の影響+寒波による需要好調から一気に舞い上がった。

元々、不需要期が先物に建つ灯油相場の買いは考えていなかったが、すでに安値で売り玉総撤退の指示は通知済み。…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年3月	¥64,150	8月26日	¥71,610	2月17日	¥58,670	9月26日	¥71,570
2012年4月	¥59,490	9月26日	¥69,630	2月17日	¥57,250	10月5日	¥69,610
2012年5月	¥61,740	10月26日	¥68,530	2月17日	¥59,010	12月19日	¥68,490
2012年6月	¥62,400	11月28日	¥68,140	2月17日	¥58,700	12月19日	¥68,090
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥68,110	2月17日	¥50,660	12月30日	¥68,050
2012年8月	¥63,840	1月26日	¥68,300	2月17日	¥61,870	2月3日	¥68,220

灯油もすべて一代高値の更新中であり、遅ればせながら青天井の図式。

2/17 現在の業者間転売価格は、…中略…

2/11 現在の灯油在庫は、…中略…

関連商品であるジェット燃料は昨年同期に比べて14万k1少なく、輸出も好調で、灯油とともに元売りが増産しても在庫が減少している。こりゃ、遅ればせながら灯油もまだ上がるな…という気はする。

結論として当方の相場観は、過剰在庫は完全払拭。ジェット燃料の輸出も好調で、元売りの増産にも関わらず灯油とともに在庫は減少。これではガソリンよりも目先のファンダメンタルズは強いという事も考えられ、遅ればせながら押し目買い参戦が良いだろう。

[為替]

○ ドル/円相場日足

…削除済み…

安住財務相は「1ドル=75円63銭で介入を指示し、78円20銭でやめた」と失言したわけで、これじゃ78.20円以上の円安は無いだろうと考えていたのだが、さにあらず。

相場は79円台まで戻しており、思いっきり(とは言っても3円だけだが)円安に向いている。

相対力指数はすでに75ポイント台で、この上げ方はこのところの商品相場の動きと酷似。というか商品市場が、この円安で高騰したんだらうけれども…。

皆が「円安になんぞなるわけがない」と考えた裏目が出たのだから、今後どうなるのかはまだ考えはまとまらない。日銀による金融緩和をちょっと甘く見ていたと反省する。

いずれにせよ、円安が続くようなら商品は更に高騰するだろうし、円安が終了するなら一度大きく下げるだろう。

○ ユーロ/円相場日足

…削除済み…

円は対ユーロでも円安が進んでおり、ついに一目均衡表の雲の上にも出たトレンド転換である。どうせユーロなんぞ無くなるだろう…という決めつけが、裏目に出た格好である。

○ ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

ユーロ/ドルはもみ合いの継続。つまり、いつの間にか円が弱くなっているわけだが、何でこうなっているのは、当方にはまだ良く判らぬ。判らぬ時は、無理には考えない事になっている怠け者なもので、判断が付いたらまたコメントする。

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com